

平成25年第2回定例会 一般質問概要

日程	順	議員名	件 名	要 旨
3月11日 (月)	1	伊藤 千代子	中学校の「柔道」授業と子どもの安全について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校におけるスポーツ事故について (2) 「柔道」の授業内容について (3) 子どもの命を守る安全対策について
			前原東土地区画整理事業と地場業者の振興について	<ul style="list-style-type: none"> (1) ため池の所有・地権者について (2) 事業費と公的補助金について (3) 事業計画について。進捗状況、造成、下請け、道路建設の状況。 (4) 施行業者の選定について
			公平公正な入札と契約のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 姫島介護施設新築工事の入札結果について (2) クリーンセンターにおける管理業務委託の随意契約について
	2	松月 よし子	松林の保全再生について	<ul style="list-style-type: none"> (1) シンポジウムのテーマとされた「未来につながる里浜」について、どの様に認識しているか。 (2) 松枯れによる被害と対策 (3) 海岸線の保全と保全計画について (4) 保全活動のための拠点づくりについて
			竹の活用について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 竹林の現状と課題について、どの様に把握しているか。 (2) 市、民間での竹の活用、竹林整備について (3) 放置竹林、農地に侵入した竹林の対策について (4) 竹の繁茂の状況を把握するためのマップづくりについて

3月11日 (月)	3	井上 健作	糸島市誕生3年・今・未来について	<p>(1) 糸島市誕生3年経過の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併のメリットは活かされているか。デメリットの解消については。 ・地域審議会の状況について ・市の最上位計画である長期総合計画の現状は。 (財政計画、行政改革、基本構想の議会への付議) <p>(2) 今、市の抱えている課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、人口減少への対応は。 (社会保障費抑制策、定住促進策、産業振興策) ・地方交付税の特別措置終了後の対応は。 ・大型プロジェクトへの対応は。 <p>(3) 未来の糸島のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区まちづくり、市民協働のまちづくりの次の展開は。 ・将来(10年、20年先)を見据えたまちづくり戦略は。 ・市長の新年度への取組みと意気ごみは。
	4	波多江 一正	糸島市中山間地域の農業環境について	<p>(1) 中山間地農業の現状について</p> <p>(2) 高齢化の現況について</p> <p>(3) 耕作放棄地の現状について</p> <p>(4) 今後の展望について</p> <p>(5) 新規就農者に対する取組みについて</p> <p>(6) 転入者の住環境に対する取組みについて</p>
			図書館サービス基本構想検討委員会について	<p>(1) 中間答申の内容と現状について</p> <p>(2) 平成25年度の審議内容とスケジュールについて</p> <p>(3) 蔵書についての考え方</p>

3月12日 (火)	1	堀田 勉	国際リニアコライダー (ILC) 計画について	(1) 計画概要について (2) 経済効果について (3) 市民への情報提供と機運の醸成について (4) 誘致に向けての体制と今後の取り組みについて
			定住化促進対策について	(1) 糸島市、及び福岡都市圏の人口動向等について (2) 本市の人口伸び悩みの要因と定住化促進の課題について (3) 今後の取り組みと体制について
			糸島市商工業振興計画について	(1) 本市の商工業の現状と課題について (2) 地域資源を最大限に生かした“いとしま経済”の活性化について (3) 計画達成のポイントについて
	2	檜和田 正子	子育てしやすい町づくりについて	(1) 乳幼児医療費助成の拡大をする必要はないか。 (2) 子育て支援保育料無料化を実施出来ないか。 (3) 児童館を建設して子どもの健全育成の場を提供することについて (4) 子どもの学校給食の食育の重要性について (無料に出来ないか) (5) 子宮頸ガン予防ワクチン接種について (無料接種の延長を)
			合併して3年、住民サービス向上について	(1) 自主運行バスが、昨年から福吉校区と一貴山校区で運行が始まった。利用状況と今後の取り組みについて (2) コミュニティバス運行事業のバス路線拡大と運賃について検討状況を伺う。
			合併後に取組まれた課題について	(1) 二丈・志摩地区で行われた下水道事業についてのアンケート実施結果について伺う。 (2) 公共下水道の財政について、借入金総額と返済計画はどうなっているか。

<p>3月12日 (火)</p>	<p>3</p>	<p>吉丸 克彦</p>	<p>松枯れについて</p>	<p>(1) 被害木の処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島海岸の松林、約20万本のうち4万5千本が枯れたという報道だったが、被害木の伐倒は終わったのか。 ・糸島海岸を見て廻ったが、被害木に薬剤を塗布し搬出の準備はしてあるが、搬出、焼却、チップ化はいつまでに完了するのか。 ・被害木の焼却、チップ化で、まだ積み残し、未処理はあるのか。あるとすればこれからどうして行くのか。 ・大口海岸の松林は全滅していて、何年か前に丸太状に切れた部分や枝などが、まだ散乱しているが、もうその様な枯れた木にはマツノマダラカミキリムシは産卵しないのか。 (1本の丸太にも幾つもの羽化した穴があるが) ・幣の松原では比較的新しく伐倒された木は搬出されるようであるが、以前伐れた木が放置されている所がある。これはどうするつもりか。 <p>(2) 異常木について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉の一部、枝の一部が、マツノマダラカミキリムシに、かじられた所(枝や葉が黄色になっている所)や大口海岸等で新しく植えられた3~4年生の木の中にも、すでに新芽がかじられた枝が20本中約4本位ずつある。これは植え替えるのか。 <p>(3) 松枯れ被害について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この度の松枯れの甚大な被害によって、生活面や農業生産面、その他観光面、環境面での様な影響があったのか。 <p>(4) 駆除・防除について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境的にも、生態的にも、将来的に薬剤を減じて行くことは大事だが、今の状況だと薬剤散布の適期の5日間位で一挙に一度、虫の密度を下げるのが肝要と元林業技術センター研究部長の小河誠司氏が言われていた。そして、後は飛び込み防除をすれば、薬剤の使用は減じて来るというアドバイスを頂いた。市としては、空中散布を視野に入れた対応をするかどうかを伺いたい。(空中散布が出来ない場合はどうするのか) ・2月17日に志摩中体育館であったシンポジウムでは適期防除を力説してあったが、残った松や新植の松については薬剤散布の適期の防除について誰が指示をして、誰が薬剤
----------------------	----------	--------------	----------------	---

<p>3月12日 (火)</p>	<p>3</p>	<p>吉丸 克彦</p>		<p>散布をするのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松林は国有林、県有林、市有林、行政区林、個人と様々な立場にあるが、マツノマダラカミキリムシの駆除、防除について、具体的に市はどの様にしたいと思われているのか。 ・まだ健全な松の木の薬剤散布については、市はどのような方針でいるのか。 <p>(5) 松林を恒久的に保全する活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松林を恒久的に維持、保全、育成するには市として、どんなことを考えているのか。 ・保全再生プロセスの中で、保全するのかどうか、保全するにはどこを残して行くのか、樹種転換も含めて、どの様に判断をして行くのか。 ・2月17日のシンポジウムでは、今後残すべき松林と他樹木（広葉樹）との混植を考えて行く必要があると言われていたが、その決定はどこの機関がするのか。どのような手法でするのか。 ・シンポジウムの中で小河氏は、松は他の樹木よりも砂地に強く、その松葉は塩砂風をも払い落す。だから海岸側に最適。広葉樹は葉の上を塩砂風が滑って行き内陸部に入り込み易いということを言われた。その点、市は海岸側に基本的に松を植えて行くことを考えているのか。 ・松林を維持、保全、育成、管理をして行くには官民一体とならなくてはならないが、地元行政区、市民、NPO、ボランティア団体に対し、松林に対する関心をどう高めていくのか。行政としてどう引き出して行くのか。 ・シンポジウムでは関係機関による協議会を立ち上げる必要があると言われていたが、市としてどうするのか。 ・個人の土地所有で被害木を何らかの理由で伐れないとか処理できない場合はどうして行くのか。 ・保全（駆除、防除）再生、育成、管理等の中で、その費用はどうするのか。 ・松林の育成、保全について、教育との関わりはどう考えているのか。 ・今後、松林、里浜も含めて、どの様に活用して行くのか。
----------------------	----------	--------------	--	--

3月12日 (火)	3	吉丸 克彦	巨樹・巨木について、保存木について	<p>(1) 環境省、巨樹・巨木林調査データベースに旧志摩町、旧二丈町の県の天然記念物を含め主だった巨樹、巨木が掲載されている。ところが旧前原市は天然記念物に指定されている雷山千如寺の大楓やビャクシン、雷神社の観音杉やイチョウ、白糸滝の万竜楓などが掲載されていない。旧前原市で掲載されているのは柵にあるユーカリ1本だけである。これはどうして掲載されなかったのか。</p> <p>(2) 保存木については、旧前原市、旧二丈町の掲載はあるが、旧志摩町の保存木の掲載が1本もない。これはどうしてか。</p> <p>(3) 保存木指定については、糸島市として基準を統一して指定木（保存木）として掲載すべきではないのか。</p>
	4	江頭 晶子	公務労働を担っている非正規職員の現状と課題について	<p>(1) 減りつづけている正規職員の実態と増え続ける非正規職員の職場と職務内容について</p> <p>(2) 職場の非正規化の進行について（非正規化をさらに進めていくのか。）</p> <p>(3) 非正規職員が置かれている現状と課題の認識について（行政運営への影響などについて）</p> <p>(4) 職場の非正規化は進行している。非正規職員にとって働きやすい職場とは。</p> <p>(5) 公務労働を担っている指定管理者等で働いている非正規職員の現状と課題について（例えば、放課後児童クラブ職員等）</p>

3月13日 (水)	1	古川 忠正	インフルエンザについて	<ul style="list-style-type: none"> (1) インフルエンザの年代別患者数について (2) 予防注射の助成制度について (3) 予防注射の実施数について (4) 中学生以下の予防注射の助成について (5) 高校受験を控えた中学3年生の予防注射の助成について
			生活保護について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生活保護の対象について (2) 生活保護の基準額について (3) 7%削減された場合の受給者の変化について (4) 生活保護の引き下げによる保育料や就学援助などへの影響について
	2	笹栗 純夫	定住促進の取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> (1) 定住促進係を学研都市づくり課に新しい係として新設された狙いは何か。 (2) “住むなら糸島—転入・定住促進—”を掲げ、「しっかり教育！、しっかり子育て！」(仮称)のサブテーマのもと、転入促進基本方針・定住促進アクションプログラム策定を望む。見解をお聞かせいただきたい。 (3) 定住促進をアピールする仕掛けづくりを強化しないか。市ホームページトップにバナーでアピールしないか。その他の方策が取れないか。 (4) 定住促進へ優遇策(新築住宅で固定資産税を軽減)が取れないか。
			地域の安心・安全を強化する防火・救急活動の取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> (1) 防火活動に大きな役割を果たすと期待される女性消防分団の結成を目指さないか。 (2) 女性団員の方に応急手当普及員の資格を取得していただき、女性が救急救命のトッパーになっていただけないか。 (3) 聴覚障がい者に災害通報カード(FAX用紙)を各戸配布し、いざという時に、瞬時にFAXできる配慮ができないか。 (4) 他県で採用されている外国人向けの、救急搬送時に威力を発揮する各国版の「メディカルハンドブック」は必携だと思うが、取り組まれているか。

3月13日 (水)	2	笹栗 純夫	通学路の安全対策について	<p>(1) 「福岡県の通学路における緊急合同点検の実施状況」で糸島市は点検箇所は44箇所、対策必要箇所数も44箇所である。既に公表済みであるが、対策が打たれれば通学路の安全は確実に向上するか。</p> <p>(2) 図表を公表した自治体が申請をして初めて「防災・安全交付金」が交付されると聞いている。補正予算は2月中に成立し個所付けが行われ、本予算はGW前後に個所付けされる予定だが、申請手続きは遺漏なく進められているのか。</p> <p>(3) グリーンベルト（通学路カラー舗装）の本格実施を決断しないか。</p>
	3	小島 忠義	高齢者がいきいきと暮せるまちづくりについて	<p>(1) 高齢者数が増え続ける現状下で高齢化率が30%を超えた社会で考えられる問題はどのようなものがあるのか伺う。</p> <p>(2) 長期総合計画や市長施政方針に高齢者に対する施策の重要性が述べられているが具体的な施策について伺う。</p> <p>(3) 一人暮らし、高齢者のみの世帯数の推移を伺う。</p> <p>(4) 元気な高齢者が支援を必要とする高齢者の世話をする取り組みは有効な手段と考えられる。官民一体となった仕組み作りは考えられないか伺う。 (例) 買物困難者対策や介護支援ボランティア制度の導入など</p>
			広報誌「いとしま」について	<p>(1) 広報誌の役目をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) より多くの市民に読まれ、親しまれる誌面作りについての考え、今後の方向性を伺う。</p>